

活動交流集会発言集 (その3)

各地で広がる「脱原発」のぞい組み!



(代表理事 3) 県民集会の開催は、最初は秋頃から騒いでいたが、「予算は？」「できるか？」と言うことで心配していた。今は「やるっきゃない」という話だ。若い人が中心になって、5,000人規模の集会として取り組んでいる。勢いはある。「やるっきゃない」という若者の意思はすごい。平和委員会として何ができるかと言うことだ。具体的な提案では、平和委員会として60万円くらいは出すように頑張ってもらいたい。個人賛同1,000円 (50万円)、団体賛同35円 (10万円) だ。

当日の参加者の拡大も取り組んで行かなくてはならない。意気込みが違う。思い切っって出して、若い人たちに自信を持ってもらうように、成功させるためにも頑張ってもらいたい。当面、4. 1大集会成功に絞って頑張りたい。

(池 貝) 職場は地域の人たちは少ないので、職場での取り組みを報告したい。労働組合の組合員全員が平和委員会の会員だ。署名は労働組合から来ているのでそちらに集約している。4. 1大集会は県本部からも指示が来ているので、執行委員に呼びかけ、賛同団体になった。ボスターも張り出した。来週から宣伝活動をする。

労働組合は春闘真っ只中だ。職場でアンケートを取った。その中に原発問題の質問も入れた。150人中80人くらいが回答した。「原発を早くなくせ」が32%、「将来的に無くせ」が43%だった。4人中3人が「原発を無くしてほしい」と思っていることが分かった。行方市と鉾田市は、除染地域に指定されている。会社としては、「放射線量に高い値いだらどうする」という心配も出ている。

(花だいこん) 民医連には会員が15人くらいいるが、会員の全員が集まったことはなかった。機関紙の「暮らしと健康」1月号に理事長の文を載せてもらい、裏に4. 1県民集会のチラシを載せて参加者を募った。6,000部発行した。700名くらい戻ってきている。水戸駅で署名行動をやっている。書名を100筆くらい集めた。20名余の職員がいるが、なかなか広まらない面もある。活動を知ってもらおうと、カリーバザーに取り組んだ。

地元選出の国會議員に「なくせ 原発」を手渡しで届ける行動に取り組んだ。1名にはじかに会って話すことができた。4. 1県民集会にはバスを1台出すことになっている。現在は、放射線測定器を持って行き、医労連の旗を出して、放射線測定行動をしている。ニュースも出している。

(筑 西) 4. 1集会にはバス1台を出すことを目標にしている。地域独自のピラも出して運動している。「9. 19」や「10. 30」では地域でバスを出して参加したこともあり、4. 1でも同様に取り組もうとしている。放射線に関する学習会も何回も開催している。「東海原発を廃炉に」の署名も1,000筆近く集約している。

(美和・緒川) 4. 1県民集会には乗用車で参加するという話だったが、「地域からバスが出るといいな」という声もあったので、中型の30人乗りレンタカーで参加する。ピラは手刷りで印刷し、5,000部を新聞折込にした。御前山にも入れた。署名は、4. 1集会に参加の呼びかけをしながら取り組んでいる。参加が難しい人は500円の賛同金への協力を頼んでいる。

「東海原発を廃炉に」の陳情は、大宮と美和・緒川の2つの会があるので、連名で提出したところ「困る」と言われ、別々に出しなおした。総務委員会で審議されたが、結果は不採択だった。本会議でも審議するという。議員には配布するだけだった。

(北茨城) 「東海原発を廃炉に」署名は学習会の時に集約した。

(水戸西) 4. 1県民集会は予算が500万円、参加目標が5,000人だが、若いお母さん方にとって、賛同金1,000円はきつい額だ。だから500円に設定した。心は「できるだけ2口1,000円」と言うことだ。参加団体は1口3000円なので、頑張っってとりくむしかない。水戸西では、新婦人の会や平和委員会など、3つの団体でマイクロバスを仕立てて参加しようということになった。

4. 1実行委員会は、毎回30団体くらいの参加しかかない。実行委員会は、回を重ねるごとに参加団体が増えないと集会の成功は難しい。次回は3月20日が実行委員会だが、腹構えを決めないとダメだ。新婦人の会でも県レベルは参加するが、地域からは実行委員会に参加していない。平和委員会ではできるだけ地域から実行委員会に参加してほしい。

東海村長の村上さんは参加しない。「メッセージを出す」と言うことだが、集会を成功させるためにもさらに運動を強めることが必要だ。原子炉発祥の地から、原子炉を無くしていく運動の手がかりになればいいのではないか。

(鹿 行) 以前は「鹿行でバス1台」くらいの取りくみだった。今回は、神栖市では民商を中心に大型バス1台、鹿嶋市では平和委員会や九条の会など6団体で実行委員会を結成して手作りの旗を持って大型バス1台、潮来市では市職を中心に大型バス1台、鉾田・行方では農医連を中心にマイクロバス1台と、都合4台のバスで参加する運動を進めている。鹿行平和委員会では賛助金については、2口1,000円の協力を要請している。また団体賛同も進めている。

(小美玉) 「4. 1県民集会には参加できなくても、500円の賛同をしてほしい」という働きかけをしている。話の中では「原発を止めたら電力が不足するのでは？」という意見もある。「太陽光発電を進めるため、太陽光発電のパネルをつけよう。補助金を出せ」と言う運動を進めるのがいいのではないか。また、自然エネルギーを実施させる取り組みを進める必要があると思う。

(代表理事 3) 4. 1県民集会までに理事会を開催する時間的余裕はない。今回は活動交流集会で、機関会議ではないので決議や決定をすることはできない。しかし「申し合わせ」をすることはできる。「個人賛同金1口500円では会員数の1000口をやりきること」、「各平和の会平和委員会は団体賛同1口3,000円をやりきることを申し合わせて頑張りたいがどうだろう。(賛成の声)

(太 田) 今年の冬は記録的な寒さだったというが、ほぼ原発なしで乗り切った。「暑い夏がきたら」という声もあるが、電力は心配いらぬというのが実感だ。4. 1県民集会の参加は、平和の会や年金者組合でバスを1台出すことにした。署名も「会員1人あたり20筆」をやりきろうと頑張っている。チラシの新聞折込も取り組んでいる。

(内原友部) バス1台を出す計画を進めているが、今までの話を聞くと、バス1台では間に合わないのではないかと気が持ちこたくなる。4. 1県民集会の成功に向けて取り組みをさらに強化したい。

仲間づくり

(守 谷) 4. 1県民集会は、平和の会と新婦人の会との共同で28人乗りのマイクロバスを仕立てて参加する。会員は、1人増えて1人減少した。平和の会会員には、新婦人の会に入っている人がいるが、両方の会の会費を支払うのは大変だという。人によっては3つも4つもの団体に加えて活動している人もいる。金銭的にも大変だ。こんなことでも仲間作りの困難につながっている。



(代表理事 3) 「いずこも同じ」という状況がある。やはり新しい世界に飛び出して仲間を作るといいう取り組みをしないと仲間づくりは難しくなる。

平和かわら版No. 620 (3月25日号) 別刷り

(3 / 4 ページ)

活動交流集会発言集 (その4)



仲間づくりに全力を！

(代表理事) 「年金者組合は元気がいい。会員も増えている」と言う話はよく出てくるが、年金者組合は、活動に遊びの要素を取り入れている。平和委員会の活動は遊びでやれることではない。しかし、遊びに要素も取り入れていくことが必要ではないかと考えている。各平和の会・平和委員会でもいろいろな「遊び」の要素を取り入れる取り組みも考えてほしい。

(内原・友部) 手話サークルのボランティア団体に入っているが、年1,000円くらいの会費で、縛りは緩くなっている。若い人には縛りがきつい団体には参加を避ける傾向があるように感じる。

(代表理事2) 平和委員会は活動の内容が難しい。会員の活動量や知識や理解の差が大きいので、会員同士で話し合っている場合でも、話に入っていない部分が出てくる。だからこそ、今まで運動に参加したことのない人にも加入を勧めることが重要になる。会費をいくつかの団体に支払っている問題はよく理解できる。

(鹿行) 女性の会員を増やそうと言うことは大切な視点だ。しかし、女性は自分に興味のあることしかしない。これらの特性も考えて加入の呼びかけをするときよいのではないかなと思う。

(代表理事1) 平和委員会としての本来に運動を迫及することも大事だが、もっと緩やかに考えてもいいのではないかなと思う。たとえば、運動には直接参加できないが会費は出してくれる、「平和かわら版」などは読んでくれる、だけでもいいのではないかなと思う。いろいろな会に入っている人が多いので金額的には大変になってしまっても多い。

平和委員会で発行する新聞や平和かわら版、チラシなどには、必ず「会員募集」の文章を入れてほしいが、実現してない。

(代表理事2) 4. 1県民集会にバスを仕立てて参加する地域が多い。このとき、加入書や加入のしおり等を持参し、バスの中で加入を訴えることを必ずやろう。また、参加を要請するときにもあわせて加入を訴えるあわせて取り組むことも重要だ。

(代表理事3) どの県でも会員の拡大は難しいと言っている。しかし「仲間づくりを進めよう」という「旗」を降ろすと会員は減少するだけになる。運動に魅力があれば加入してくる。たとえば平和委員会は「憲法を守れ・・・」というフレーズで訴えているが、「守れ・・・」では、元気が出ない。「憲法を生活に生かそう」など、積極的に関心を受けられるように提起することが必要ではないか。「憲法が改悪されるから・・・守れ」だけでは力が出ない。「相手が軍事力を持っているので、日本は不安だ」となる。ひとつには

「戦争を放棄する国を増やしていく」ことを訴える戦略も考えるべきではないかなと思う。

また、都留重人が言うには、「沖繩の基地を無くすには、国連本部を持ってくればいい」という。「そうすれば、沖繩の基地は自然になくなる。なぜそのようにしないのか」と言っている。

(水戸西) 加入のしおりは出来ているのか？また工夫して作成するといい。年金者組合ではいつでもどこでも「署名と加入のしおり」を持っていく。仲間づくりは声をかけるしかない。無差別に声を掛ける「働きかけ」以外に有効な手立てはない。働きかけた人が魅力的で信頼される人なら加入してくる。自分は新しい人との付き合いはほとんどに少なくなっている。現在つながっている人たちは全部知っている人だ。4. 1県民集会では今までつながりが少なかったり、ぜんぜんなかった人たちも参加してくる。その人たちに加入の働きかけをすることが必要だ。また以前に会を辞めている人たちにも再度加入の呼びかけをした方がいいのではないかなと思う。

年金者組合の旅行では、車中で加入の呼びかけをしている。4.1県民集会でもバスの中で加入の呼びかけをすることが大切だと思ふ。

(鹿行) 年金者組合では、ある時期、会員がドンドン減った事があった。「カラオケの会を作ったらどうだろう」と言うことで結成した。会員の減少が止まり、逆に増えてきた。カラオケは週1回開催し、参加者は500円払う。会員が減少した場合は、補充するようにして現在も維持している。

(代表理事3) とりあえず、加入対象者を挙げてもらうことが大切だ。6月大会までには相当数の会員を増やしていかないと、会員が減少してしまう由々しき事態になる。

(事務局) 昨年度の大大会前に、各平和の会・平和委員会ごとに加入呼びかけの対象者を、具体的に挙げてもらい、100人余の名前が挙げられた。1年過ぎた現在、挙げられた人たちの9割以上が会員になっている。

意識的・継続的に加入の呼びかけをするためには、①会議を持つ(拡大推進委員を複数確認する) ②対象者を「具体的な名前」で挙げる ③誰がいつ声を掛けるか確認する。 ④呼びかけた結果を確認する。⑤会議を持つ という繰り返しを定期的に行うことしかない。声を掛ける時期については、いろいろ取り組みにあわせるなど、柔軟に考える。とにかくなんらかの形で、草の根的に、常に呼びかけることが、新しい仲間を迎えることにつながる。

前回の理事会や常任理事会で、「各平和の会・平和委員会の役員会等の会議に、事務局や代表理事が参加したい。会議に日程を連絡してくれ」というお願いをしたが、現在までに訪問したのは美和緒川だけに止まっている。これからは会議の日程を連絡してほしい。事務局から必ず参加する。

(代表理事2) 全国で1,000名の会員数を超える平和委員会は4つくらいしかない。その中に茨城県が入っている。ぜひ大躍進する取り組みを進めたい。全国では2万人の会員の実現目標を5年前に掲げた

が、まだまだ届かない。全国大会までに18,000名にしようとする取り組みをしている。

(守谷) 守谷では、8月に平和展を取り組む。人を集めるわけだが、そのときにどんな働き掛けをすればいいのかなどか、成果はあるのかどうかなど、経験を聞きたい。

(代表理事2) 阿見町では原水禁平和大会に中学生の代表を送る。平和委員会ですんで実現し、もう何年も続いている。参加したあと、市教委が記録集を作成し全学校へ配布する。平和委員会にも50部渡される。平和委員会では平和パネル展を開催しているが、参加者の中で感じのいい人には加入申込書と一緒に配布している。平和展の開催前に、会場周辺にチラシを1,000枚を配布した。

(守谷) 市に対して平和への働き掛けをすることは大切だと思ふ。

(鹿行) 潮来市では、平和委員会が毎年8月に図書館を利用して「平和展」を開催していた。1昨年頃から、「図書館として開催したい」という申し入れがあり、平和委員会との共催という形になった。「もっと資料はありませんか」という話も来ている。お盆の頃は、図書館としての行事があまり入っていないので、共同でやれる可能性がある。地元で働きかけてみるという。

(代表理事2) 先ほど、「申し合わせが出来ないか？」という提案があった。それに対して「申し合わせをする」ということになった。どのように表現すべきか、意見がほしい。

まとめ

※ 4. 1県民大会を成功させるため、活動交流集会の参加者一同で以下を申し合わせる。

1：各平和の会・平和委員会は、会員の人数分の賛同者（1口500円）を集めよう。そのためにも会員に限定せず、取り組みの裾野を広げて会員外に訴え、全体で1,000口をやりきろう。

また、平和の会だけでなく、他団体にも呼びかけて、賛同団体（1口3000円）30口以上の集約をやりきろう。

2：4. 1県民集会の取り組みを通じ、大胆に加入を呼びかけ、仲間づくりを進めよう。

(代表理事2) 討議時間がなかったが、レジメにあるように、沖繩の米軍基地撤去、憲法を守る運動は引き続き取り組みを強化することも確認したい。(終了 4時50分)

平和かわら版No. 620 (3月25日号) 別刷り